見直し後の簡素化要件について

【簡素化要件について】

介護認定審査会簡素化の対象者条件は以下の通り。

簡素化判定の審査会資料は、審査部会より主治医意見書提示の要請があれば、提示する。

また、個別の審査対象者について、内容を確認した結果、審査部会の合議により、簡素化対象から除外することを可能とする。この場合、簡素化対象から除外と判断する根拠や理由について、審査部会は各区の介護認定審査会事務局へ提示する。審査部会の合議により、簡素化対象から除外と判断した審査対象者は、改めて、翌日以降の審査部会において、通常の審査判定手順にて判定を行う。

1 国の簡素化対象 6 要件に該当すること

- (1) 審査対象者が第 1 号被保険者（65 歳以上）であること（第 2 号被保険者は除外）
- (2) 要介護（要支援）更新申請であること（新規、区分変更申請（要支援者新規申請含む）は除外）
- (3) コンピュータ判定における要介護度が、現在の要介護度（前回の認定結果）と一致していること。
- (4) 前回の審査結果の認定有効期間が 12 か月以上であること。
- (5) コンピュータ判定における要介護度が「要支援 2」又は「要介護 1」である場合は、状態の安定性判定ロジックの判定結果が「安定」であること。
- (6) コンピュータ判定における要介護認定等基準時間が次のいずれ※にも含まれないこと
(基準時間が重度化へ上がる「キワ」の者は除外)

※「非該当」から「要支援 1」へ上がるキワの「22 分以上 25 分未満」

「要支援 1」から「要支援 2・要介護 1」へ上がるキワの「29 分以上 32 分未満」

「要支援 2・要介護 1」から「要介護 2」へ上がるキワの「47 分以上 50 分未満」

「要介護 2」から「要介護 3」へ上がるキワの「67 分以上 70 分未満」

「要介護 3」から「要介護 4」へ上がるキワの「87 分以上 90 分未満」

「要介護 4」から「要介護 5」へ上がるキワの「107 分以上 110 分未満」

2 次の要件に該当しないこと

認定調査において、認定調査員が基本調査の選択肢の判断に迷った調査項目が確認された者

【認定有効期間について】

簡素化対象者の認定有効期間は、48 か月とする。

【見直し要件の適用時期】

令和 5 年 9 月 1 日以降の審査判定分から実施する。